夢と希望をもち 未来にはばたく つばさっ子~



-人じゃないよ… この世界は美しいよ

校 長 浅 野 博

令和5年度の教育活動がスタートし、一ヶ月を終えました。朝 の登校時、それぞれの地域に出てみると、多くの保護者・地域の 皆様に温かく見守られ、つばさっ子が安全に登校できていること、 心から厚く御礼申し上げます。

また、PTAをはじめ、おやじの会・各自治会・地域関係の諸 団体等の皆様から、日頃、つばさっ子の健やかな成長のため、胸 が熱くなるほどのご支援を賜っていることを伺い、重ねて心から 深く感謝申し上げます。

今、朝の校庭での体育の時間、元気な子どもたちの明るい声が 聞こえてきます。ふと、校長室から校庭を眺めると、子どもたち が笑顔いっぱいに、こちらに大きく手を振ってくれました。

素直な心がストレートに伝わってきて、…"つばさっ子は、と っても温かい心をもってるなぁ!"と感じました。

先日の「1年生を迎える会」…代表児童の「1年生への呼びか け」の言葉の中に、【つばさ小は、やさしさいっぱいの学校だよ】

とありました。私は、1年生の 子どもたちに、「なにか困った事 があっても、たくさんの仲間達 が、助け合い・支え合ってくれ ますよ。安心してくださいね。」 と語り、「みなさんの目の前には 主に6年生の皆さんがいますが、 各教室には、2~5年生。そし



て、それぞれのおうちからオンラインでつながっている仲間たち など、みんな大切なチームつばさの仲間たちです。」と話しました。

子どもたちは集団生活を通して、発達途上の仲間たちと、時に はぶつかり合い、時には思いやりの心に触れ涙を流し、よりよい 人間関係を学んでいきます。集団生活では当然、もめ事も起こり ます。大人が公平に丁寧に話を聴き、教え諭し、子どもたちをは ぐくんでまいりましょう。人間を人間の中で・集団の中で育て上 げていくのです。

どうか、お子さんの日々の頑張りをほめてあげてください。学 校で、また、オンラインで、あるいは、自分の力で学ぶこと。何 かに一生懸命取り組むこと・好きなことに没頭すること。けんか して仲直り・・・どれもがかけがえのないことです。

「文字を書くことができるのは、素晴らしいこと。子どもたち が一生懸命に書いた字は、どの字も素晴らしい。」と、改めて思う きっかけとなった文章があります。右に掲載した手紙は、子ども の頃、学校に行くことのできなかった北代さんが、識字学級に通 い、字を勉強して、70歳になって初めて"自分の手で"書いた ものでした。

手紙には、「夕やけを見てもあまりうつくしいと思わなかったけ れど、字をおぼえてほんとうにうつくしいと思うようになりまし た。」と、北代さんの前に広がる新しい世界への感動が書かれてい ます。

今、子どもたちは、自分の道でそれぞれの歩みをしています。 時には壁に突き当たって、ひざまずき、時には真っ暗闇なトンネ ルの中に入り、寒さにこごえていることもあるでしょう。

しかし、朝が来ない夜はありません。…一人じゃないよ。私が そばにいる。そして、学校の先生も。チームつばさの仲間たちも。



5月の生活目標 廊下は静かに右側歩行しよう 5月の保健目標 見つかった病気を早く治そう

5年4組担任の 教諭が産前休暇に入り 5月8日(月)より 本校 生徒指導担当

教諭

が5年4組の学級担任となります。 ★赤ちゃんのご誕生をみんなで待っています(^^♪

~小中一貫教育 派遣教員の紹介~

高学年を主に担当します

◆1学期・金曜日の3校時、高学年を主に担当します。

学校生活の様子

1〈1年生給食開始〉

つばさ小学校の給食 は、お子様の健やかな 成長を考え、愛情のた くさん込められた、と ってもおいしい給食で す。換気をよく行い、 マスクを外して食事の 際、マナーよく静かに



いただいています。みんな前を向いて、互いの距離は 離れていますが、おいしさ一杯・にこにこ笑顔です。

2〈1年生を迎える会〉 4月20日(木)

体育館に1年生と 6年生全員、2~5 年生の各クラス代表 者、吹奏楽部員が集 まり、体育館の様子 を2~5年生の各教 室と自宅で学習して いる仲間たちに配信



TE な 1'

7 j. Zt

1 6

1

t

TJ'

2

だ

p'

ŧ

17

T

は

ŧ ŧ

U

tì'

しました。吹奏楽部の演奏に迎えられて1年生が笑顔 いっぱいで、花のアーチをくぐって入場。1年生を優 しく迎える、心温かい雰囲気につつまれました。

> は ¢

在 5

to

IT

ŧ

かなほ

ŧ

ムチ 之方 行 あ 1. うを t るいて 11" \$ 42 恩 お はって シょう 見いまする たいて あっても 11, 17, Ż なりま こうを た

v. T

p l

< t

O 15"

ÉŻ

o to

F

見

ti

;

ŧ

ti

II.

ラファ 17 Ł 見 がった 36 10 ţ てき ħ < F. 7 1t T F カ L けて ŧ らって D さた IT. l 7 1 1 ま ŧ + Z したかため ŧ ŧ

おぼょ ح んへ ħ いで、はじもか、

わたくしは、うちがびんぼうで あったのでがっこうへ いっておりませんでした。だから じを ぜんぜんしりませんでした。だから じを ぜんぜんしりませんでした。いま しきじがっきゅうで べんきょうしていままで おいしゃへいっても うけつけでなまえをかいてもらっていましたが ためしてみました。みやけを見ても あまりうつくしいと思はなかったけれど じをおぼえて ほんとうにうつくしいと思うように はんとうにうつくしいと思うように なりました。みちをあるいておってもかんばんに きをつけていて ならった かんばんに きをつけていて ならった かんばんに きをつけていて ならった ゆくのも たのしみになりました。いちへ ゆくのも たのしみになりました。

色

北代